

周術期外来の術前評価に関する調査

1. 研究の対象

麻酔科管理のもと手術を受け、術前に周術期外来が何らかの介入した患者さん

2. 研究目的・方法

医療の進歩に伴い、手術の安全性は高まりました。しかし、同時に重症症例が手術を行う機会も増えてきました。麻酔科医が担う術前の仕事は麻酔の説明、同意書の取得だけでなく、重症症例も円滑に周術期管理を行うために術前評価の重要となっています。そのため周術期外来では診察し、リスク分類するだけでなく術前介入が適切と判断した場合は、呼吸機能訓練や栄養指導など術前介入を行っています。医学的な介入だけでなく不安が強い子どもたちにはホスピタルプレイスペシャリストによる精神的サポートも行っています。その周術期外来での働きを外部に紹介するのが本研究の目的です。

研究期間は、臨床研究倫理委員会承認後より 2023 年 12 月 31 日になります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断名、身長、体重、術式、麻酔時間、手術時間、麻酔方法、採血結果(白血球数、総蛋白、アルブミン、BUN、Cr、CRP、Na、K)、胸部レントゲン写真、スパイロメリー、術後経過(心拍数、血圧、体温などの生体情報)など診療録から情報を得ます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通 2-13-22

電話 06-6929-1221

地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター

研究責任者 麻酔科・医長・岡本 なおみ